店舗用・学校用・業務用・設備用ロスナイ・業務用空気処理単独ユニットのご使用上の注意事項

1.使用条件について

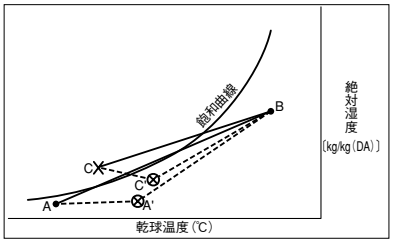
機種				本体設置条件	外気(OA)空気条件	還気(RA)空気条件
店舗用ロスナイ	全カセット形	SKU-AC タイプ	※1	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
店舗用ロスナイ	真下グリル形	SKU-HC タイプ	※1	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
学校用ロスナイ	天吊露出形		※1	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
学校用ロスナイ	床置形		※1	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用空気処理ユニット	単独加湿ユニット		※1	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用空気処理ユニット	単独脱臭ユニット		※1	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	パワー脱臭カセット形		※1	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊カセット形	マイコンタイプ〈フリープラン対応形〉(CX$_4$タイプ)	※1 ※4	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊カセット形	スタンダードタイプ(CS$_4$タイプ)	※1 ※2	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊カセット形加湿付(CKS$_3$タイプ)		※1	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊埋込形	マイコンタイプ〈フリープラン対応形〉(RX$_4$タイプ)	※1 ※4	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊埋込形	スタンダードタイプ(RS$_2$タイプ)	※1 ※2	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊埋込形加湿付	マイコンタイプ〈フリープラン対応形〉(RKX$_4$タイプ)	※1 ※4	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊埋込形加湿付	スタンダードタイプ(RKS$_4$タイプ)	※1 ※2	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	天吊埋込形加熱加湿付(RDF$_5$タイプ)		※1 ※3 ※4	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
業務用ロスナイ	耐湿形(RHW$_3$、RHP$_3$タイプ)		※2	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度100%以下	0℃〜+40℃、相対湿度100%以下
設備用ロスナイ	床置形(LF-Xタイプ)		※1 ※4	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
設備用ロスナイ	床置ビルトイン形加湿付、加熱加湿付(LB-KX$_3$・DF$_5$タイプ、LPB-KX$_5$タイプ)		※1 ※3 ※4	0℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
設備用ロスナイ	ビル用ロスナイパック形(LP-X$_2$)		※1 ※4	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下	−10℃〜+40℃、相対湿度80%以下
設備用ロスナイ	ビル用ロスナイユニット横形(LU)		※1	−10℃〜+50℃、相対湿度80%以下		
設備用ロスナイ	工業用ロスナイ(LUP)			−10℃〜+80℃、相対湿度100%以下		

※1 ただし、一般の居室であり、空調温湿度条件であること。従って、温度差の大きな冷蔵庫等や極端な冷暖房条件では、上記数値内であっても使用できません。(使用条件の相対湿度は温度によって異なります。例えば40℃、80%では使用できません)
※2 寒冷地運転用回路(PZ-50KU$_2$)・霧侵入防止用回路(PGL-50FU)を使用した場合、給気空気条件−15℃〜+40℃、相対湿度80%以下までご使用になれます。(耐湿形以外は本体表面の結露防止が必要です)ただし耐湿形(RHW$_3$、RHP$_3$タイプ)は相対湿度100%以下までご使用になれます。
※3 室外機の使用条件によって、給気空気−15℃まで対応できない場合がありますので、室外機の使用条件にご注意ください。
※4 寒冷地でマイコンタイプを使用する場合−10℃以下になると給気用送風機が間欠運転(60分運転、10分停止)を行うことにより−15℃までご使用になれます。(ただし本体表面の結露防止が必要です)

- 温水プール、浴室、きのこ栽培室、岩盤浴等の高温多湿(30℃以上の時、相対湿度80%以上)になる地域や霧の多発地帯で使用する場合、エレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下においては店舗用ロスナイ、学校用ロスナイ、業務用ロスナイ(耐湿形除く)、設備用ロスナイは使用できませんので、耐湿形「ロスナイ」(LGH-15RHW$_3$・50RHW$_3$・100RHW$_3$・50RHP$_3$・100RHP$_3$・LUP形)をご使用ください。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、オイルミスト、塗料、殺虫剤等の有害ガス、腐蝕性成分を含んだ空気の使用はできません。
- 排気ガス・工場排煙等、異臭の原因になる劣悪な空気が吹き込まれない位置に外気取入口を設置してください。
  また、火山灰等の影響を受ける地域では外気取入口、室内排気口にフィルターなど除去装置を設置してください。
- 商品の安全上、塩害、温泉害等の発生している場所でのご使用は避けてください。錆の発生及び絶縁劣化による漏電火災や故障の原因となります。(塩害の発生している場所で使用する場合は、OAダクトの途中に市販の塩害防止フィルターを取付けてください)
- 微小な虫侵入対策について
  一般的に、郊外建物などで給気側屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下においては給気側屋外フードから商品内に侵入した微小な虫の欠片が、室内に侵入する場合があります。
  食品工場や病院などの衛生建物でしかもこのような環境にあり、微小な虫侵入を防止する対応としては次のような対策をお勧めします。
  ① 業務用ロスナイ天吊埋込形(加湿付を含む)の場合
  ※ 別売のシステム部材「フィルター付給気グリル(PZ-10〜25GM,GZM)」又は「虫侵入防止ユニット(PGL-10〜25MB)」をご使用ください。
  ② 業務用ロスナイ天吊カセット形(加湿付を含む)の場合
  ※ 別売のシステム部材「カセット用虫侵入防止用部品(商品本体取付形)」(受注対応品)をご使用ください。(商品への装着はお客様にて実施となります。)
  なお、仕様や納期など具体的な内容や上記以外の機種の対応については、カタログ裏表紙の当社支社及び販社、または当社代理店にお問い合せください。
- 寒冷地・外風の強い場所では、運転停止時に室外の外風が侵入することがありますので、外風侵入防止策として当社の電動ダンパー(PZ-10〜25DD$_4$)の併用をおすすめします。
- 故障の原因となる恐れがありますので、現地改造はしないでください。
- 紫外線に当たると、断熱材が劣化するため、紫外線の当たる場所に設置しないでください。

2.エレメントの結露・結霜

- 右図のように「ロスナイ」吸込側空気条件A、Bを空気線図上にプロットし、高温側空気Bが「ロスナイ」により熱交換されてCのように飽和曲線をはみ出す空気条件となる場合には、「ロスナイ」エレメントに結露あるいは結霜が生じる場合があります。このような場合には低温側空気AをA′のポイントまで上げて、CがC′(飽和曲線を下回る条件)のポイントになるようにしてから使用してください。
  エレメントが結露により濡れた場合、エレメントが劣化し、エンタルピ交換効率が下がります。



3.メンテナンスについて

※ 具体的なメンテナンス方法は、商品に付属しております「取扱説明書」をご覧ください。
※ 天吊埋込形、耐湿形はメンテナンスが実施できるよう「点検口」を必ず設けてください。また、天吊露出形、床置形、床置ビルトイン形、ビル用ロスナイパック形はメンテナンススペースを必ず設けてください。
※ メンテナンスカバーの前に障害物(天吊ボルト等)を置かないでください。

1) エレメント

- 2年に1度以上清掃を実施してください。清掃は入口部分の表面に付着したチリ、ホコリを掃除機により吸い取ってください。ハケ付の吸い込みノズルを使用することによって簡単に清掃できます。

2) エアフィルター

- 「ロスナイ」の空気吸込側(給気側、排気側とも)には、エレメントの目づまり防止のため、エアフィルターを必ず装着してください。また1年に1度以上点検の上、清掃を実施してください。清掃は軽く手でたたくか、又は掃除機でホコリを吸い取ってください。汚れがひどい場合は水、又は中性洗剤を入れたぬるま湯(40℃以下)で洗って(押し洗い)よく乾かしてください。

3) 加湿器

- 加湿器(加湿エレメント、ストレーナ)は1年に1度、メンテナンスを実施してご使用ください。
- 加湿シーズン終了後、及び加湿シーズン以外で、試運転や立会検査実施後は、給水バルブ又はサービス弁を閉止し、加湿器の乾燥運転を行ってください。
  また、加湿シーズン中においても長期間(2〜3週間以上)運転しない場合には、加湿器の乾燥運転を行ってください。
  加湿器の乾燥運転は、下記のように送風機を運転してください。
  ① 加湿付ロスナイ・外気処理ユニットの場合
  ※加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」ノッチ運転で累計24時間以上運転してください。
  ② 単独加湿ユニットの場合
  ※内部乾燥運転を実施してください。乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し異臭を生じることがあります。異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要となります。